



G20 大阪開催決定

日本初 来年6〜7月で調整

安倍晋三首相は20日、日本で初めての開催となる平成31(2019)年の20カ国・地域(G20)首脳会議を大阪市で開催することを決めた。時期は6月末から7月初旬の方向で調整している。G20財務相・中央銀行総裁会議は福岡市で開くことも決まった。複数の政府関係者が明らかにした。13面「万博・IR誘致に弾み」、30面に「歓迎ムード」

財務相会議は福岡

複数の政府高官によると、首相は20日午後菅義偉官房長官、麻生太郎副総理兼財務相と会談した上で、河野太郎外相の同意も得て、大阪で開催することを最終決定したという。

G20首脳会議の開催地をめぐっては、大阪府・大阪市のほか、愛知県と福岡市が誘致を目指していた。政

府は、空港からのアクセス▽会場や宿泊施設の収容能力▽警備上での課題などを観点から昨年12月の段階で大阪市での開催を内定した。ただ、その後、福岡市が開催計画の見直しを進めて巻き返しを図ったほか、政府内で東京都での開催を推す声も上がり、再検討を進めていた。



来年のG20の大阪開催が決定した

大阪市は昨年11月中旬、大阪府とともに外務省にG20誘致の応募書類を提出した。メイン会場には大阪市住之江区の大阪国際見本市会場(インテックス大阪)を想定しているという。

G20開催都市は国際的な知名度が飛躍的に上がる。大阪市は大阪府などと共同で37(2025)年の国際

| | |
|---------|--|
| 開業年 | 昭和60年5月 |
| 展示面積 | 約7万平方メートル |
| 過去の国際会議 | 「アジア太平洋経済協力会議(APEC)」(1995) 「主要国(G8)財務相会合」(2008) |

視したのは高級ホテルの客室数だった。G20は、米英仏中露など主要国だけでなくサウジアラビアのように大規模旅行団が高級ホテルを借り切るケースが少なくないからだ。大阪市は神戸、京橋両市に近く、客室の確保が比較的容易な点で他都市より優位となった。空港や高速道路網などが整備されており、警備面での評価も高かったという。

G20は、先進7カ国(G7)に中国やロシア、インドなどを加えた20カ国・地域が参加する国際会議の枠組み。期間中に35カ国・機関から延べ約3万人が訪れるとされる。

博覧会(万博)の誘致を目指しており、こちらにも弾みがつきそうだ。

31年は、4月30日に天皇陛下が譲位され、即位の礼など譲位関連行事が続く。加えて、4月に統一地方選、夏に参院選が行われるなど政治日程がめじろ押しとなる。

選定にあたり、政府が重

誘致を進めてきた大阪市の吉村洋文市長は「大阪が選ばれたことは大変光栄。日本では初めての開催ということで、責任の重大さに身の引き締まる思いだ」とコメント。大阪府の松井一郎知事も「国と連携しながら、府・市・経済界のオール大阪で成功に向けた準備に全力で取り組みたい」とのコメントを発表した。